

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月15日

事業所名 Kids わかば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		配置基準こそは満たしているが、コロナ時の対応等で勤務の調整や他事業所への協力の依頼をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%		手すり等はあるので現在の利用に関しては不便はないです。借りている施設の為リフォームが難しい状況ではあるが今あるものを利用したり、家主と相談したりしながら改善に努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	0%		無回答あり。職員会議や時間を設け、わかりやすく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	意見に対しては、実践可能なことは改善し、対応については報告しています。	評価表を活用し、ミーティングを行い改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	個別で結果を送付するほかに、ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	第三者委員会の評価はありませんが、関係機関等の外部より意見があったときには適宜対応しております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	リモートで参加できるもの、感染症対策がきちりしてあるところに関しては会場での参加をしています。	研修には全員が参加することができない為、参加者が報告をきちり行うようにし、資質の向上に努めていきます。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%		アセスメントシートを各職員が用いてアセスメントを行うことを徹底していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節の行事を入れることなど、活動内容が固定化しないように実施しています。当番制にして固定化しないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75%	0%		無回答あり。少人数での対応であったため個別での対応が多かった。個別対応の中でも変化を持たせ、他事業所との交流等積極的に行って行きます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	可能な限り行っており、確認しやすいように掲示を工夫したり、メモを残すようにしています。	開始前にミーティングに参加できない場合には前もって打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	終業時間が違う為その日に行くことは難しいが翌日に行くようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日記録は取っております。	記録を参考にミーティングを行ったり、法人内の他事業所と事例検討を行うこともあります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校からは月間予定表(下校時刻の記載のあるもの)をいただいています。年1回会議を行っています。	学校までの送迎を行っていない為、共有の時間は減っているが、不明な点や申し送りすべき事項がある時には電話をして共有していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25%	75%		現在該当するかたはいらっしゃいません。必要な場合は行います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%		現在該当する方はおられませんが新規の利用があった場合には情報共有等行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		今年度は卒業される方がおられなかった為対応しておりません。今までの卒業生に対しては行っておりました。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	0%		調整ができたときには、研修を受けていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	小学校の校庭を利用して遊ぶ時に、地域又はサポートセンターを利用されているお子さんと遊ぶことがあります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	管理者が参加しています。発達支援部会に参加しております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お迎えの時、連絡帳にて様子をお聞きしたりお伝えしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	ペアレントトレーニング自体は行っていませんが、相談に対し、対応方法をお伝えしています。保護者のかたのお話を聞いて事例をお話したり、保護者の方が参加できる研修、講演会等のチラシを掲示しております。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約書又は重要事項説明書に記載し、説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	面談時、お迎えの時、電話相談時に行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	25%		コロナ関係で近年は保護者会を開催しておらず、今年度は都合により中止としたが基本的には年一回保護者会を開催しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情受付担当者を配置しております。	苦情が出た際には対応をし、環境整備等行っていきます。法人の権利擁護委員会に議題として提案し、対応策を検討いたします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月1回お便りを発行しています。行事等の連絡もその都度事前にお知らせしております。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	写真掲載の確認を本人、保護者に行っています。	個人情報取り扱いについては周知徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚化して掲示しています。保護者の方には主に連絡帳を通して行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	75%		コロナ関係で実施に抵抗があり、5類となった現在も招待するにいたっておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	25%	状況に応じて連絡報告をしております。	臨機応変に対応させていただいているため、マニュアルの変更すべき所は行い、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回避難訓練、交通安全教室をおこないました。今年度は役場の方に来ていただき、避難所用ベットの組み立てや水害、地震が起きたときの避難について教えていただきました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	法人内に権利擁護委員会を設置しています。また、県主催の研修に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	権利擁護委員会が法人内にあり、実施、伝達をしています。また、年に1回県の研修に参加しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%		現在はいないが必要な時に対応いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		

